

部局名	都市整備部	所属名	都市整備課	所属長名	榊原 隆夫	電話	483-1151 内線3530
-----	-------	-----	-------	------	-------	----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3334	事務事業名称	勝田台駅北口広場対策事業				短縮コード	経常	臨時	3334		
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	04	都市計画費	目	02	都市整備費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	都市マスタープラン								
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
昭和51年から村上団地入居に伴い、村上団地住民のバス輸送対策の一環として市が用地を確保し、駅広における混雑緩和や交通安全に寄与するために事業を推進している。 村上団地住民等のバス折り返し場及びふれあいプラザ送迎バスの乗降場として勝田台駅北口広場隣接の用地を借り上げた。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱(章)	04	快適生活空間都市をめざして					
借上げている用地は、バス輸送対策の一環として利用しているため、平成20年度に公共交通対策事業として統合する予定である。					大項目(節)	06	市街地整備					
					中項目	01	市街地整備					
					小項目(施策)	01	市街地の整備・誘導					
					細項目	01	市街地の整備					
					実施計画の計画事業							
計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>		計画事業期間	～		計画事業費	千円					

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	バスの利用者及び駅前広場利用者						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成18年度に実際に行ったこと: 1. 交通結節点における混雑の解消 2. 村上団地住民等のバス折り返し場及びふれあいプラザ送迎バスの乗降場として勝田台駅北口広場隣接の用地を借り上げた。 ※平成19年度に計画していること: 上記平成18年度と同じ						
意図 (何を狙っているのか)	1. 交通結節点における混雑の解消を図る。 2. 道路・鉄道・バスなどの機能連携を図り、利用者の利便性の向上を図っていくために駅前ターミナルの交通結節機能を高め、移動の自由性が高い快適交通環境をめざす。						
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	入力対象外						
区分	指標	内容	単位	17年度 実績	18年度 計画	18年度 実績	19年度 計画
対象指標	指標1	利用者数	人	1,585,074	1,600,000	1,554,811	1,578,571
	指標2	運行本数	便	117,760	118,000	113,552	113,552
	指標3						
活動指標	指標1	用地借上面積	m ²	1,083	1,083	1,083	1,083
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	既存調査・統計	%	40	40	40	40
	指標2						
	指標3						
上位成果指標	指標1	市街地の整備・誘導が適切に図られていると感じている市民	%			39.3	
	指標2	土地区画整理事業施行済面積	ha			218	
	指標3						

コード	3334	事務事業名称	勝田台駅北口広場対策事業			所属名	都市整備課
	単位	17年度		18年度		19年度	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0
		県	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	11,390	11,390	11,390	11,390
		その他	千円	0	0	0	0
主な事業費の内訳		勝田台駅北口用地借上料11,390千円	勝田台駅北口用地借上料11,390千円	勝田台駅北口用地借上料11,390千円	使用料及び賃借料11,390千円		
人件費 (B)		千円	10,734.9	8,753.6	17,315.5	17,315.5	
トータルコスト (A)+(B)		千円	22,124.9	20,143.6	28,705.5	28,705.5	

3. 事務事業の評価 (SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	上位施策の市街地の整備・誘導を推進するため、勝田台駅北口広場対策事業を実施している。			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
目的妥当性	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	バス輸送対策の一環として勝田台駅北口用地を借上げているため、平成20年度に公共交通対策事業として統合する予定である。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
目的妥当性	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	バス輸送対策の一環として事業を進めているため、民営化することが出来ない。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
目的妥当性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	当初目的は変わっていない。			
		<input type="checkbox"/> 見直す必要がある				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある	公共交通対策事業と統合することにより、有効性を図り効率よく事業を推進したい。			
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある				
		<input checked="" type="checkbox"/> 両方可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	公共交通対策事業と統合することにより、有効性を図り効率よく事業を推進したい。			
		<input type="checkbox"/> 臨時的任用職員等の活用				
		<input type="checkbox"/> IT化等業務プロセスの見直し				
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し				
		<input checked="" type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し				
<input type="checkbox"/> 上記以外の方法		2		実施主体 (所管部署)		
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> ある					
	<input checked="" type="checkbox"/> ない					

コード	3334	事務事業名称	勝田台駅北口広場対策事業			所属名	都市整備課																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他			平成20年度に公共交通対策事業として統合する予定である。																					
			<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続																								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不 変	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	公共交通対策事業として統合する予定であるが勝田台駅北口広場の拡張がされるまでは、用地の借上げが必要となるので、成果・経費は不変である。	
		経 費																									
		削 減	不 変	増 加																							
成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	不 変	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
・決算委員から所管はバス体系の関連として、公共交通対策事業に該当するのではないのかと指摘されている。	

所属長コメント	この勝田台駅北口広場対策事業は、駅に隣接する用地を借上げし、駅前広場の混雑緩和及び交通安全に寄与している。今後も勝田台駅前広場が拡張整備されるまでは、用地の確保を続けることになるが、この事業の目的から見て平成20年度には公共交通対策事業として統合する予定である。	
評価調整委員会意見	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続	「公共交通対策事業」と統合することにより、改革・改善を推進し有効性・効率性を向上させるべき